

## 奈良県スポーツ推進計画の概要

### 第1章 計画策定の趣旨

#### 計画策定の趣旨

運動・スポーツの推進に、県民全体で取り組むための指針として、これまでの振興プランからさらなる一歩を踏み出す新たな「奈良県スポーツ推進計画」を策定(平成25年3月)

#### 計画策定の位置づけ

- \* スポーツ基本法及び国の「スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、本県の実情に合わせて策定
- \* 10年後における県民の健康寿命の日本一達成を目指そうとする、「なら健康長寿基本計画」と整合を図る。
- \* 市町村、学校、スポーツ関係団体、企業、地域など多様な主体と連携・協働し、県民全体で運動・スポーツに取り組む方向性を示す。

#### 計画期間

目標年度を平成 34 年度とし、社会情勢や県の取組み状況などを踏まえ、5年後(平成 29 年度)に見直しを行う。

#### 計画の推進体制

- \* 計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→見直し(Action)というマネジメントサイクルを踏まえ、奈良県スポーツ推進審議会において、本計画の進捗状況を確認しながら、その結果を具体的な取組みに反映。

### 第2章 計画の理念と目標

奈良県民が気軽に運動・スポーツに取り組むためのマスタープランとして、奈良県全体で運動・スポーツを推進し、「生き生きと安心して健やかに暮らせる 健康長寿の奈良県」の実現を目指す。

<目指す姿> 生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県

<基本目標> **だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり**

<基本戦略>

I だれもがいつでも楽しめるスポーツ

II 地域で楽しむスポーツ

III あこがれ・感動を生むスポーツ

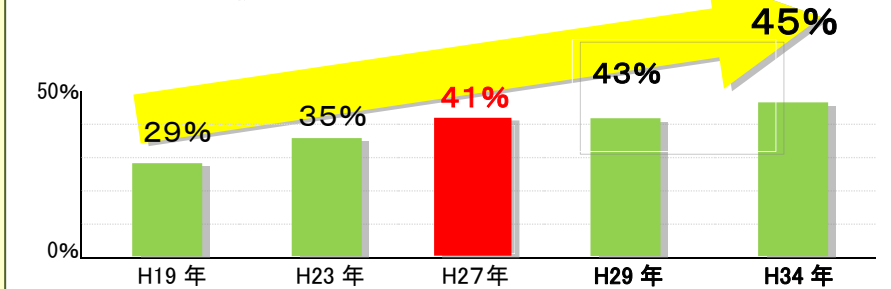
IV スポーツ環境の整備

<基本施策>

4つの基本戦略ごとに、3~4の基本施策を設定し、施策を推進。  
(13 基本施策、31 施策)

#### 基本目標を実現するための参考指標

1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合



※H19年、H23年については「県民健康栄養調査」、H27年は「なら健康長寿基本調査」による

### 第3章 施策の体系と内容

#### I だれもがいつでも楽しめるスポーツ

健康長寿の礎となる健康体力の向上と、スポーツを通じて人格形成や青少年の健全育成を図るため、障害があるないに関わらず、すべての人が運動・スポーツをしたい時に、どこでも、気軽に楽しむことができる環境づくり・仕組みづくりに取り組む。

##### 【指標と目標数値】

指標	H24	H26	H27	H34
総合型地域スポーツクラブの会員数	10,355人	12,191人	13,765人	70,000人
総合型地域スポーツクラブ数(準備中も含む)	55クラブ	61クラブ	62クラブ	150クラブ
スポーツ指導員(日体協公認)	2,026人	2,081人	2,140人	4,000人

##### 【基本施策】

- 1 総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり
- 2 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進
- 3 障害者の運動・スポーツの推進
- 4 スポーツを支える環境づくり

#### II 地域で楽しむスポーツ

明るく豊かで活力に満ちた地域社会の実現に向けて、スポーツイベントの一層の活性化をはじめ、奈良県の豊かな地域資源を活かした地域で楽しむスポーツを推進に取り組む。

##### 【指標と目標数値】

指標	H24	H26	H27	H34
スポーツイベントの参加者数(総合型交流大会)	1,149人	3,038人	4,520人	10,000人
「奈良マラソン(フルマラソン)」に参加する奈良県民の人数	3,868人	4,670人	4,586人	5,000人

##### 【基本施策】

- 1 参加型スポーツイベントの実施
- 2 スポーツツーリズムの推進
- 3 スポーツを支える新たな基盤整備



ヒルクライム大台ヶ原の様子

#### III あこがれ・感動を生むスポーツ

県内外で活躍できるスポーツ選手を育成する体制の整備を進め、競技力の向上を図るとともに、スポーツの裾野を広げるために、人々にあこがれと感動を与えるプロスポーツなどの観戦の機会づくりに取り組む。

##### 【指標と目標数値】

指標	H24	H26	H27	H34
国体の総合成績	35位	35位	33位	20位台
プロスポーツ等の試合数(有料観戦)	5試合	32試合	44試合	60試合

##### 【基本施策】

- 1 競技力の向上
- 2 トップアスリート等との連携によるスポーツの推進
- 3 プロスポーツなどの観戦の機会づくり

リオオリンピック(2016)女子マラソン代表 伊藤 舞 選手(奈良県出身)



#### IV スポーツ環境の整備

だれもがいつでも運動・スポーツに親しめるよう、既存施設の充実と活用を図るとともに、身近な公共施設等を有効に活用するための環境整備などに取り組む。

##### 【基本施策】

- 1 身近な公共施設等の活用
- 2 既存スポーツ施設の活用方法の検討
- 3 新たなスポーツ施設の研究



まほろば健康パーク スイムピア奈良



明日香庭球場クラブハウス